

(別紙2)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年4月26日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3970101618
法人名	社会福祉法人 てくところ会
事業所名	グループホーム 南十字星
所在地	〒780-8040 高知県高知市種崎字古桑野593
自己評価作成日	平成21年11月8日
評価結果市町村受理日	平成22年5月6日

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年11月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=3970101618&amp;SCD=320">http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=3970101618&amp;SCD=320</a>
-------------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホームでは、入居者様の尊厳を守り、安心して生活の出来る満足度の高い介護を目指しています。先ず整理整頓、清潔第一を心掛け、おむつ外し、便秘の改善及び立位、歩行などの機能訓練に毎日取り組んでいます。

職員は、内外の研修や勉強会へ積極的に参加し、資質の向上を図り、毎朝のミーティングでは振り返りを行い、即実践につなげていくように取り組んでいます。また、7つの各委員会に役割を持ってもらい、日頃から問題意識を持ってアセスメントが的確に出来るような、サービスの向上に取り組んでいます。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

住宅地域にある事業所の建物は、地域の避難場所として指定を受け、地域住民や保育所と協働して避難訓練を実施している。町内会には加入していないが、運営推進会議のメンバーである自主防災会長や民生委員から情報を得て、地域の祭りや催しに参加している。新しい管理者のもと、「利用者にとって安心できる場づくり」をキーワードに、職員全体会や各種委員会、毎朝のミーティングなど、様々な話し合いの機会を通じて意識の共有化を図り、市の指導、助言等を受けて、身体拘束をしないケアの実践にも取り組んでいる。また、前回評価の課題項目についても、出来る部分から取り組んでおり、引き続き進捗管理等にも留意して運営することを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p><b>○理念の共有と実践</b></p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に繋がっている</p>	<p>基本理念を基に日々のミーティング、勉強会などで実際のケアに活かせるように共有し実践に繋がっている。理念に基づいたケアの実践について意識調査表を作成し自己評価を定期的に行い、分析し日々のケアに活かせるよう計画しています。</p>	<p>独自の基本理念があり、安心できる職場をキーワードにケアの向上を図っている。毎朝のミーティングの充実やスタッフ各自の自己評価を取り入れサービスに対する意識づけを行っている。</p>	
2	2	<p><b>○事業所と地域とのつきあい</b></p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>運営推進会議のメンバーである地区防災会長や民生委員から地域の情報をもらい、地域のお祭りや行事に参加しています。また、避難訓練時の協力等を通じて対話や交流が深まるように努めています。</p>	<p>事業所の建物が地域の避難場所に指定されており、地域と一体となった防災訓練や、地域の行事に参加している。散歩や買物の際には地域住民と挨拶を交わし、建物1階で以前行っていた「いきいき百歳体操」の再開を検討するなど、地域の一員として溶け込むよう努めている。</p>	
3		<p><b>○事業所の力を活かした地域貢献</b></p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>現施設長は、保健所の委託を受け地域の認知症の方の自宅訪問を行ったり、他職種の方々に依頼をうけ講義などの教育、啓蒙活動を行っています。また、地域の防災施設として地区防災会議へ定期的に参加しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営の状況や入居者の現況について報告し、家族や地区防災会長、市職員などの参加委員からご意見をいただき、出来る事から着実に取り組んでいます。	事業所から運営状況や市の実地指導への対応、評価結果について報告し、参加委員から意見等が出され双方向的な会議となっているが、評価結果の改善状況の報告はされていない。	評価結果の改善項目の進捗状況なども会議で報告し、委員の意見等を受けて運営に反映させていく取組みを期待したい。
5	4	<b>○市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	法令を遵守し、安心して過ごして頂くために介護保険課、東部包括支援センター、元気生きがい課、他関係機関と連携を取り、適正な事業所の運営により、日々のサービス向上、提供を行っています。	市の実地指導や運営推進会議を通じて、サービス内容や運営の向上について助言を得るなど、連携を図っている。	
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	6月より前施設長による虐待の疑いで事業所の存亡の危機として取り組んでいます。身体拘束委員会を通して拘束の内容はスタッフ一理解しており実施しています。また、職員は可能な限り、研修会や勉強会などに参加しています。	市から、身体拘束に関する指導を受け、毎月の身体拘束委員会やミーティングにおいて身体拘束に関する勉強会や話し合いを行い、職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は、虐待防止に関する研修会に順次参加しています。平行して虐待の定義、防止について事業所内での勉強会も行っています。毎朝のミーティングでも防止について意思統一を図り取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護に関する制度の活用は現在ありませんが、年間教育の中で研修、勉強会の実施を計画しています。成年後見制度については外部講師を招き講義していただく準備に取り掛かっています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の目的、内容、期間から解約、賠償責任、緊急対応などを分かりやすく理解できるように説明を行い、理解していただいた上で同意を得るようにしています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議で家族の意見等を聞いており、話し合った内容については適宜、職員に伝達し、改善に向けて具体的な取組みとして運営を行うようにしています。また、記録についても閲覧できるよう準備しています。</p>	<p>毎月、家族に手紙や電話で連絡を取っている。また、家族の面会時や運営推進会議に参加した家族から意見等を聞いており、意見や要望はミーティングを通じて職員間で共有し、運営に反映させている。</p>	<p>家族は身内がお世話になっている意識から事業所に意見等を言い出し難いことを理解して、家族同士が話し合う機会を設けるなど、意見等を事業所に気軽に伝えられる取組みを期待したい。</p>
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎朝のミーティング、業務管理委員会など6つの委員会で意見交換したり、各職員とは個別で意見交換をする場を設け、運営に反映させるようにしています。また、6月から全職員参加の全体会で、運営方針を明らかにして、様々な職員の意見を聞き反映しています。</p>	<p>日々のミーティングや職員全体会で運営方針の共有や、職員の意見、提案を聞く機会を設け、ケアの改善など適正な運営に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	本年度より1年以上勤務実績のあるパート職員を正職員にしました。また、労働時間の短縮にも取り組み、夜勤帯の仕事時間（17時から翌9時まで）の改訂を行いました。		
13		<b>○職員を育てる取り組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新任職員に対しては適宜、プリセプターを3～6カ月つけて能力アップに努めています。各職員には経験別に年間教育に沿って更なるケアの向上に繋がるよう取り組んでいます。外部講師を招聘しての内部研修を行い、外部研修会へも参加できるようにしています。		
14		<b>○同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームなどの見学を行っています。各研修会などで交流を図り、意見交換を通してネットワークづくりを行っています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>○初期に築く本人との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面接時より入居者様に分りやすく説明を行い、ご本人の意向、どうなりたい、どうしたいかなどをしっかりと受けとめ、要望にそって生活できるよう話し合い、信頼関係を深めるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>初回面接時よりご家族の意向を聞き、今後の関係を深めるように取り組んでいます。面会時にも同様に入居者様の状態やご家族の悩みの有無についても話しています。家族会、運営推進会議、面会時など折に触れ話し合っています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談時には、その内容を見極め緊急性のあるものは即座に対応できるよう関係機関との連携を取っています。他事業所との調整が図れるよう支援しています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人と一緒に掃除や衣類の片づけをしたり調理の後片付けを行うなど、何らかの役割を持っていただけるよう「共に暮らす」という関係を築いています。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>職員はその時々の利用者の状態に合わせて相談し合い、共に支えあうようにしています。家族の地域交流会に参加してもらっています。また、定期的な宿泊や外出で支えていく関係性を作っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの方がいつでも会いに来られる環境づくり、家族と外出する機会の支援をしています。</p>	<p>知人、友人等の訪問を受けている。また、利用者が以前行ったことがある木曜日や大型スーパーに少人数で出かけたり、馴染みの場所を考慮したドライブを計画するなど、工夫しながら支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>共同生活の場として他の利用者とは会話したり一緒に過ごせる場の設定や利用者同士が会話をする間を取り持つなどの支援をしています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院などにより住居が決まっていない方の荷物を預かっています。長期入院時に戻れなくなった方の復帰については待機待ちの最優先位にする可能性を探ったり、身寄りのない方については精一杯フォローするなど支援を行っています。</p>		
<p><b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>担当者会議（更新、見直し、変更時）ではご本人の意向を必ずお聞きし、生活に反映させています。</p>	<p>毎日の関わりの中で言葉や表情から個別のニーズをとらえたり、家族から情報を得るなど把握に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人、家族、ケアマネージャー、主治医等関係されている方から可能な限り情報を収集しアセスメントに活かしています。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>情報を収集し、分析・評価を行い、生活全般を総合的に捉えて支援できるようにしています。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>課題の分析にあたり、可能な限り情報収集を行い、分析評価した上で本人、家族、担当介護者、ケアマネージャー等多くの意見を聞き、より良いケアマネジメントが出来るようにしています。</p>	<p>本人や家族の意見等を聞き、3カ月毎に介護計画の見直しを行っている。利用者の心身の状態に変化があればその都度見直し、ケアの向上に努めている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>実施したケア内容に沿って具体的に客観的にありのまま記録に残し、継続した介護が適切に出来るようにしています。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族の有無に拘わらず、受診援助（家族に代わって病院受診付き添い）買い物代行、散髪援助、依頼購入や介護保険の代理申請、郵便物の発送などを柔軟に支援しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の指定避難場所としての役割が地域に浸透しており、町内会、防災会、保育園、小学校と連携を密にし、消防避難訓練を協働で行っています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期的に往診をお願いしており、体調変化のある時は家族もしくはホームスタッフが受診同行を行っています。主治医には何でも相談し健康管理を行っています。</p>	<p>本人、家族の希望に沿って、かかりつけ医に受診できるよう支援している。基本的に家族の同行としているが、不可能な場合は職員が同行している。受診結果は家族から報告を受け、職員間でも情報を共有している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>当法人の看護師（援護寮施設長）に24時間体制で相談指導を受けています。また、訪問看護の看護師に指導を受けながら、利用者の生命の安全を守り健康管理を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	協力病院との医療連携が充実しており（主治医による訪問診療、訪問看護）、利用者の状態も理解されているので現在は問題無く入院の受け入れ、早期退院に向けての連携はスムーズに出来ています。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化に対する指針の説明をし同意を得た上で変化があれば家族、職員で話し合い、対応できるよう取り組んでいます。家族が病院の看取りを希望する場合は、連携病院やその他の病院で医療看護が受けられるような体制にしています。また、終末期での状態によりホームの看取りを家族が望む場合には、そのように対処します。	重度化した場合における対応指針を作成し、利用者、家族に説明を行い同意を得ている。家族の希望に応じて、事業所での看取り体制や、救急体制のある医療機関との連携体制を備えている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急処置、応急手当について施設内勉強会を実施しています。別途、消防署に依頼し救急に関する講習会を行う計画を立てています。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地震及び消防避難訓練（地震訓練9月、消防訓練6月、11月）を地域住民や保育所と協働して実施している。安全及び災害対策委員会と協働して避難路や家具の整理を行っています。	事業所が地域の避難場所として指定されており、避難訓練については、地域住民や保育所と協力して実施している。非常時の食料等の準備はできていない。	災害時に備えた非常用食料等の備蓄については、高知県社会福祉施設地震防災対策マニュアルを参考に検討することを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>基本理念に基づいたケアを提供することを心がけ、利用者一人ひとりの人格、誇り、プライバシーに配慮したケアを実施しています。また、適宜ケアについては振り返る機会を設け、対応の統一を図るようにしています。</p>	<p>プライバシーの保護については毎朝のミーティングや全体会で、その必要性を話し合っている。また、利用者が1人で過ごせるスペースの確保やトイレ誘導の際の職員の見守り位置等にも配慮している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日常生活の援助から始め食事の内容、飲み物、運動、ゲーム、レクリエーションなどの希望を事ある毎に声掛けし、本人が言葉で表出できない部分にも配慮し、引き出すように努めています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>食事内容、入浴時間、就床時間、休養について個別性を重視し、職員の都合ではなくケアプランに基づき本人のペースに合わせた支援に取り組んでいます。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>衣類等の購入は、本人の希望を取り入れ、買物に同行してもらい商品を選んでいます。2カ月毎に理容師が整髪の支援をしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<b>○食事を楽しむことのできる支援</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	過去の経験を生かして、調理や味付けをスタッフと一緒にしています。月～金は配食センターからの献立を基に食事を作っています。土、日は利用者の希望を聞き、献立に反映しています。	調理やテーブル拭き、後片づけなど、利用者の能力に応じてできることを職員と一緒にやり、職員と利用者が同じテーブルを囲んで食事を楽しんでいる。	
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立表に基づきバランスの良い食事を提供しています。糖尿の方の食事コントロール及び一人ひとりの嗜好にあった取り組みをしています。また、嚥下状態に合わせ形態を変えた食事の提供をしています。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔の清潔ケアを実施しています。定期的に歯科医師による口腔診断、治療を受けています。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、チェック表を用いて観察・記録しています。トイレの排泄を重視し、自立に向けた支援をしています。	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、できるだけトイレで排泄するよう、声かけ支援をしている。夜間、紙オムツ、尿採りパットを使用している利用者のうち、8割位の利用者は昼間はトレーニングパンツに移行している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	職員は竹内式の年間研修を受講し、個別プランに沿って、運動・食事・水・マッサージ・腹圧・定期誘導等支援しています。毎朝の牛乳やゼリー、繊維質の食材など、便秘予防に取り組み、極力下剤を使用しなくても排便できるようになることを目指しています。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	出来るだけ本人の意思に沿って入浴時間を工夫しています。毎日の入浴の希望者も可能な限り配慮しています。	利用者が希望する時間に入浴している。拒否する利用者には、さりげなく声かけしたり、足浴や部分清拭を行うなどの支援をしている。	
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者のその日の状態や希望に応じて、安静臥床、休息を取っていただいています。また、不眠傾向の利用者には日中の運動や活力性の高まるレクを通して夜間のスムーズな睡眠が得られています。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された薬の効能書をチェックし、その内容を確認の上、服薬確認を行っています。状態によりモニタリングを行い、その効果や症状の経過をアセスメントし、報告しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物の整理、料理の下ごしらえ、掃除等の役割を、利用者から「(掃除・調理) やろうか?」と声を掛けてくれる事があります。また、気晴らしとして散歩、外気浴などを行っています。		
49	18	<b>○日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	頻繁に庭や芝生の上での外気浴や、ホーム周辺の散歩に出ています。(車椅子の人も含め全員) 不定期ではありますが、ジャスコ、木曜日市などに行っています。	ほとんど毎日、事業所周辺の散歩に出かけている。車イスの利用者も木曜日や大型スーパーに買い物に出かけるなど、できるだけ外気に触れる機会をつくり、気分転換ができるよう支援している。	
50		<b>○お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理出来る利用者には小額を持っていただき、買物時には支払いを見守っています。ほとんどの利用者は施設長が管理し、その都度引き出し、お祭りや買い物時に好きな物を買っています。		
51		<b>○電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙は直ぐに一緒に読んで聞かせたり、自分で読んでもらっている。2名の利用者は居室に電話を置いており必要時に連絡を取っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関や入り口に花を活け、四季折々の飾りつけなど工夫しています。また、ホールの壁には絵や折り紙などの飾りつけをし、生活感を醸し出すようにしています。風呂はひのき風呂で個人浴を行っています</p>	<p>玄関には季節の花が活けてあり、食堂や居間の壁には利用者の作品を飾り、和やかな雰囲気づくりに配慮している。また、ソファなどの家具が使いやすく置かれ、ゆったりとくつろげる共用スペースとなっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファやベンチでくつろいで過ごせる場所を提供しています。キッチンも対面式となっており、利用者とコミュニケーションが取れるようになっています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に、馴染みの使い馴れた物を持って来て頂くようにしています。経済的に家具をそろえることが困難な利用者には近隣などに声をかけ家具などを入手するようにします。</p>	<p>家具やタンス、仏壇、思い出の写真等、それぞれの利用者の居心地の良さに配慮した空間となっている。事情により家具の少ない居室には職員がリサイクルカーペットを調達するなど、家庭的な雰囲気づくりに工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>階段、エレベーター、廊下、トイレ、ホール、浴室、居室等に手摺りやバーを設置し安全・安楽な移動が出来るよう工夫しています。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名： 南 ・ 十字星	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない



項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない